

決算審査特別委員長報告(概要)

〔認定第1号〕「令和3年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について」を認定

■主な質疑

〔総務部関係〕

〔質疑〕CM、PR、広報紙についての説明を。

〔答弁〕シテイプロモーション事業の目的は、市の知名度・認知度の向上や、来訪者増加などに主眼を置いて始めており、これまで、南島原食堂の運営や、観光ショートフィルムの「夢」、「記憶の灯」、ショートアニメ「巨神と氷華の城」を制作し、知名度向上につなげている。

〔答弁〕広報紙は、1万7,200部を作成し、各世帯や図書館、市内各施設、県内の各公共施設、コンビニ、福祉施設、美容室等にも配布をしている。

〔地域振興部関係〕

〔質疑〕M・I・N・Aコインとプレミアム商品券は、一体化するようなことを聞いているが、どのような

計画があるのか。

〔答弁〕令和5年度に、M・I・N・Aコイン事業と商工会が行っているプレミアム商品券事業を統合し、一本化で事業を進めるよう、今商工会と協議をしている。

〔教育委員会関係〕

〔質疑〕奨学資金は、南島原市に残った場合、市が補助するという事になっているが、目標は9人だったが、4人しか実績がなかったのか。

〔答弁〕奨学資金償還補助金事業の目標として、新規の補助対象者数を9名としていたが、実績が4名で、達成率は44.4%となっている。新しく償還をされる方には、償還の案内と一緒に補助金等の案内も送付しているが、目標に及ばなかった。

〔質疑〕学校給食関連施設整備事業で、この新給食

センターの建設費、及び全ての事業費が幾らになったのか確認したい。

〔答弁〕トータルで、21億5,050万円程度となった。その内訳として、設計管理費で5,624万6千円、本体工事費で15億571万4千円、厨房機器購入で4億3,635万9千円、配送車両・食器食缶購入で1億2,775万7千円、その他費用として2,447万円、合計で21億5千万円程度になっている。

〔環境水道部関係〕

〔質疑〕合併浄化槽は、毎年、何基までと決まっているのか。

〔答弁〕年間の限度については、今年度は180基を予定しており、来年度以降については、制度が変わったりするため、内部で何基にするか調整を図る段階で、今のところ何基とは言えない。

〔建設部関係〕

〔質疑〕住宅の使用料の未

収入金について説明を。

〔答弁〕収入未済額の内訳は、現年分が356万2,700円で収納率が97.8%、過年度分が1,068万5,900円で収納率が16%となっている。

〔質疑〕自転車歩行者専用道路整備の事業費は、35億円と聞いている。現在どのくらい使っているのか。

〔答弁〕前年度までは、全体で26億円の事業費。

〔福祉保健部関係〕

〔質疑〕保育園に預けている園児が具合が悪くなる、働かされている女性が多い、困ったという話を聞く。島原市では病院と連携をされているようなことだが、この様な制度を取り入れられないのか。

〔答弁〕これは病気中の児童・園児を預かつて、そこで保育をするという事業。4年度から、南島原市の児童も、この病児保育を利用できるようになった。

〔農林水産部関係〕

〔質疑〕農業用廃プラスチック

ツク等適正処理事業で、2千万円ほど支出があるが、農業者が購入する廃プラマルチも含めて2千万円なのか。

〔答弁〕マルチの処理料だけで、購入費用は入っていない。廃プラスチックを処理するための補助。

〔質疑〕新規就農総合支援事業の中で、実績の24人は農業後継者なのか。この中に、移住で来られた新規就農者はいるのか。

〔答弁〕移住で来られた方も含まれている。この24人については、5年間継続して受給している方も含んでいる。

〔質疑〕農家も人手不足と聞く割には、農援隊支援事業では、目標1,056人に対して実績が225人、達成率は21.3%。実績が少ないのはなぜか。

〔答弁〕JAが農援隊を雇い、必要な農家に派遣して農作業の支援を行っている。実績が少ない理由は、把握できていないが、農家側が雇いたいときに必要な人が来てくれる

か、というのもあると思われる。また、農援隊の数自体にも限りがあり、農繁期に集中する等の理由から、実績が伸びていないと考えている。

〔反対討論〕

給食センターのことが未だに市民の中には反対意見がある。新給食センターを建てるのに11億円、そしてアレルギー対策をするためというような説明があつて、29年には予算が莫大に倍ぐらいになったということから、いろいろ質問が出ていた。最終的には、21億円ぐらいになっている。これに対しては、未だに反対がある。

また、龍石の人たちは、大雨が降っても避難するところがない、そういうことも出ている。

賛成討論なし